

平成 27 年 2 月 18 日

## 第 3 回瑞浪市生活交通ネットワーク計画検討分科会

## 検討事項 3 運賃の検討

## 1. 現行の運賃

瑞浪市のコミュニティバスは 100 円～400 円（ゾーン制）であるが、400 円の地域から運賃低廉化の要望がある。また、東鉄バスで瑞浪駅から陶地区まで 500 円であるが、陶地区から運賃低廉化の要望がある。

## ■現行のコミュニティバス運賃

運賃	
現行	瑞浪中央線 100 円
	山田線 100 円
	名滝＝市原線 100 円～300 円
	名滝＝一日市場線 100 円～300 円
	萩原線 100 円～300 円
	陶線 100 円
	釜戸＝平山線 100 円（デマンドに移行）
	釜戸＝大湫線 100 円～400 円（デマンドに移行）
	日吉線 100 円～400 円（デマンドに移行）

## ■東濃鉄道バス運賃

## 瑞浪駅前からの片道運賃表

瑞浪駅前からの定期代を調べる場合は「定期旅客運賃表」と付き合わせてご利用下さい。  
但し運賃の赤紫色の部分は料金から 10 円マイナスして算出して下さい。

H26. 4. 1 改定

明智方面のりば				駄知方面のりば			
停留所	運賃	停留所	運賃	停留所	運賃	停留所	運賃
【 明 智 線 】				【 瑞 浪 ＝ 駄 知 ＝ 多 治 見 線 】			
竜門通り	100	水 上	500	竜門橋東	100	南山公園前	380
土岐橋	100	樋 の 下	500	元 町	100	山 神	440
市 原	100	陶 小 学 校 前	500	上 野 町	100	総合公園前	490
益見橋	100	陶 中 学 校 前	500	一 色	100	山神温泉口	490
萩原口	200	陶 町 口	500	上 一 色	180	紅 陵 高 前	500
下 小 里	240	陶コミュニティセンター前	500	下 山 田	180	ワエルフェア土岐	500
稲津公民館前	240	陶 旭 町	500	山田団地口	240	下 石 貢	500
小 里	240	陶 東 町	500	上 山 田	240	阿 庄 口	500
稲 荷 下	300	吹 越	500	石 橋	290	西陵団地前	500
興徳寺口	300	関 屋 口	500	堀 越	290	石 拾	500
山の田	300	吉 良 見	500	本 郷 町	380	昭和農園前	500
下 川 折	350	吉田小学校前	500	東 駄 知	380	小 谷 口	500
川 折 口	400	大 田	500	丸 山 橋	380	下 沢	500
川 折	400	上 田	500	長 者 町	380	現代陶芸美術館口	500
田 尻	470	徳 間	500	駄 知 南 山	380	多治見総合グラウンド口	500
大 川	490	新 町	500	駄 知	380	多治見高校口	500
大川団地前	500	明智駅前	500			上 町	500
				旭ヶ丘南	420	本町7丁目	500
				旭ヶ丘北	420	豊岡町3丁目	500
						まなびパーク前	500
						多治見駅前	500

## 2. 運賃事例

他市の事例では、コミュニティバスは100円～200円、デマンドは300円が多い。

### ■コミュニティバス運賃事例

	名称	運賃
土岐市	市民バス	100円（一部200円）
多治見市	コミュニティバス 「ききょうバス」	中心市街地線 100円（一部200円） 総合福祉センター・太平公園線 200円
可児市	さつきバス	200円
美濃加茂市	あい愛バス	200円

### ■デマンド運賃事例

	名称	運賃
土岐市	予約あいのりタクシー「のってこ」	300円
美濃市	乗り合わせタクシー	300円
可児市	電話で予約バス	300円
美濃加茂市	あい愛予約バス	300円
海津市		市内1ゾーン内 300円、 ゾーン間 400円で検討中

## 3. 料金案の検討

公平性、コミュニティバスとデマンドとの差別化の観点から、次の事項について検討する。

### ①利用者負担の考え方

コミュニティバスは採算性に基づく路線ではなく、市民の移動を確保するためのインフラであるため、市民の費用負担は、均一か、それに準ずる方法が望ましいと考える。

中心部での移動と山間地からの移動は移動距離が大きく変わるため、**案②あるいは案③を基本**とする。

案	考え方	例	
ゾーン運賃	案①	現行と同じ、路線ごとに移動距離を反映したゾーン運賃とする。	100円～300円で路線ごとに設定
	案②	中心部ゾーンとその外側ゾーンで区分し、地域内の移動となる区間と、地域から中心部までのゾーン間で運賃を変える。	・瑞浪中央線、山田線、陶線は100円か200円 ・その他の路線は200円か300円
均一運賃	案③	市内は均一とする。	市内全域100円か200円

## ②路線バスとの運賃差をどうするか

路線バスは1時間に1便程度運行されており、コミュニティバスに比べると利便性は高いが、陶地区から瑞浪駅周辺までの移動についても他の地域との利用者負担の公平性を確保する観点から、次の案が考えられる。

- 案1：東鉄バス運賃（市内分）をコミバス運賃に合わせるものとし、運賃軽減分を市が負担する。
- 案2：現行とおり

路線バスとコミュニティバスを一体的にとらえるべきことから、**案1の実現可能性について、今後検討する。**

## ③コミュニティバスの運賃をいくりにするか

コミュニティバスの運賃400円が高い、という声があるが、その地域はデマンドに移行することになる。**デマンド区域外のコミュニティバス最大運賃は現行300円**を基本として検討する。

## ④デマンドの運賃をいくりにするか

デマンドの運賃については、コミバスの利用者からの転換があるので、コミバス運賃との整合について検討する必要がある。事例の通り、**デマンド運賃を300円から400円程度とすると、地域から瑞浪駅周辺までのコミバス運賃が300円以下の地域（明世地区、日吉南部地区、平山地区等）においては、コミバス運賃よりも値上げとなる。**

デマンドにより利便性が向上する面があるので、住民への十分は説明が必要である。

## ⑤運賃案の設定

以上により、次の運賃案を設定する。

**デマンドは、ドアツードアに近い運行となるため、コミュニティバスよりも高くする。**

今回の路線再編により、**運行経費の増加が予想されるので、現行のコミバス運賃の下限を底上げする案1が候補**と考えるが、今後、関係者との調整を図りながら決定する。

	考え方	コミュニティバス	デマンド
案1 ゾーン制運賃 (下限の底上げ案)	コミバスは、100円を200円に底上げ、上限を300円（上限は、デマンド以外の地域では現行通り）	・瑞浪中央線、山田線、陶線は200円 ・その他の路線は200円～300円	300円 ～400円
案2 ゾーン制運賃 (現行通り)	コミバスは現行と同じ100円～300円	・瑞浪中央線、山田線、陶線は100円 ・その他の路線は100円～300円	300円 ～400円
案3 均一運賃制	コミバスは全線同じ金額。現状は100の路線が多いので、200円は、課題。	・200円	300円 ～400円